

## わたしの服に触れたのはだれか

マルコによる福音 5:21-43

(そのとき、) イエスが舟に乗って再び向こう岸に渡られると、大勢の群衆がそばに集まって来た。イエスは湖のほとりにおられた。会堂長の一人でヤイロという名の人に来て、イエスを見ると足もとにひれ伏して、しきりに願った。「わたしの幼い娘が死にそうです。どうか、おいでになって手を置いてやってください。そうすれば、娘は助かり、生きるでしょう。」そこで、イエスはヤイロと一緒に出かけに行かれた。

大勢の群衆も、イエスに従い、押し迫って来た。

さて、ここに十二年間も出血の止まらない女がいた。多くの医者にかかって、ひどく苦しめられ、全財産を使い果たしても何の役にも立たず、ますます悪くなるだけであった。イエスのことを聞いて、群衆の中に紛れ込み、後ろからイエスの服に触れた。「この方の服にでも触れればいやしていただける」と思ったからである。すると、すぐ出血が全く止まって病気がいやされたことを体を感じた。イエスは、自分の内から力が出て行ったことに気づいて、群衆の中で振り返り、「わたしの服に触れたのはだれか」と言われた。そこで、弟子たちは言った。「群衆があなたに押し迫っているのがお分かりでしょう。それなのに、『だれがわたしに触れたのか』とおっしゃるのですか。」しかし、イエスは、触れた者を見つけようと、辺りを見回しておられた。女は自分の身に起こったことを知って恐ろしくなり、震えながら進み出てひれ伏し、すべてをありのまま話した。イエスは言われた。「娘よ、あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい。もうその病気にかからず、元気に暮らしなさい。」

イエスがまだ話しておられるときに、会堂長の家から人々が来て言った。

「お嬢さんは亡くなりました。もう、先生を煩わすには及ばないでしょ

う。」イエスはその話をそばで聞いて、「恐れることはない。ただ信じなさい」と会堂長に言われた。そして、ペトロ、ヤコブ、またヤコブの兄弟ヨハネのほかは、だれもついて来ることをお許しにならなかった。一行は会堂長の家に着いた。イエスは人々が大声で泣きわめいて騒いでいるのを見て、家の中に入り、人々に言われた。「なぜ、泣き騒ぐのか。子供は死んだのではない。眠っているのだ。」人々はイエスをあざ笑った。しかし、イエスは皆を外に出し、子供の両親と三人の弟子だけを連れて、子供のいる所へ入って行かれた。そして、子供の手を取って、「タリタ、クム」と言われた。これは、「少女よ、わたしはあなたに言う。起きなさい」という意味である。少女はすぐに起き上がって、歩きだした。もう十二歳になっていたからである。それを見るや、人々は驚きのあまり我を忘れた。イエスはこのことをだれにも知らせないようにと厳しく命じ、また、食べ物を少女に与えるようにと言われた。

## 説教

きょうの福音にはふたつの奇跡が記録されています。

ヤイロの娘の蘇生と出血症の婦人の癒しです。婦人の癒しの奇跡がヤイロの娘の物語に挟み込まれる形で構成されます。いわゆるサンドイッチ形式です。はじめはヤイロ自身がイエスに助けをもとめ、後半はヤイロの家のものがやってきてお嬢さんはもう死んだからこなくてもいいといいます。サンドイッチの上のパンにはバターが塗られ、下のパン生地にはからしが塗ってあるようなふたつのエピソードの間に婦人の癒しの物語がはさまれています。婦人の癒しの話ですが彼女は群集にまぎれて後ろからイエスの服に触れた。そうしたところすぐに出血が止まり治った、病気がいやされたと書いてあります。イエスは後ろからこっそり触られたことにすぐに気づき、誰がさわったのかといわれます。そこで騒ぎがおきます。弟子たちは群集が大勢いるのだからわからないよ、といい、イエスはあたりを見回して捜し続けます。女

は恐ろしくなり白状します。イエスは娘よ、元気に暮らせと励ましと祝福を与えて女をさらせます。

サンドイッチ形式ではなく、おにぎり形式とみれば、この出血症の婦人の話が実になります。おにぎりといえば梅干しおにぎりです。

「わたしの服に触れたのはだれか」(マルコ5:30)

ここが梅干しの種です。福音のかんどころです。

ふたりの女性をくらべてみれば、一人はまだ若い12歳の娘、そして会堂長ヤイロの娘ですから社会的地位があります。

**十二年間も出血の止まらない女がいた。多くの医者にかかって、ひどく苦しめられ、全財産を使い果たしても何の役にも立たず、ますます悪くなるだけであった。**(マルコ5:25)

婦人のほうはどん詰まりの状況で文字通り藁にもすがる思いでイエスの服にさわりました。そんな彼女でも、そんな彼女だからこそ救われたのです。イエスは服に無断で触れたことを責めたのではなく、信じて服に触れたこと直接顔を見て褒めたかったから婦人をさがしました。

人間の救いこそ神の関心事であることをイエスはふたつの奇跡をとおして証されました。

-----